

2011 年度第 2 回野生生物保護学会理事会（概要版）

日時：2011 年 10 月 14 日（金）

場所：網走市エコセンター会議室

出席：理事：12 名中、出席 11 名（湯本、横山、赤坂、岩井、梶、小寺、鈴木克哉、鈴木正嗣、柳川、八代田、吉田）、欠席 1 名（羽山；委任状）

監事：丸山

行政研究部会：増沢・熊田・野崎

青年部会：富田・中村

大会実行委：鈴木悌治、山中正実

1、 会長、副会長挨拶

湯本会長、横山副会長より挨拶

2、 実行委員長挨拶

鈴木実行委員長より挨拶

3、 会員、会計報告

吉田事務局長より、会員動向・会費支払状況、2011 年度上半期会計報告。昨年度と比較し会費収入は微増だが、さらに会員拡大の働きかけが必要。

4、 学会誌・フォーラム誌

湯本会長より、学会誌の発行状況について報告。2011 年 9 月に「野生生物保護 13-1」を発行。年度内に査読中の論文を掲載した学会誌を発行し、来年度に新学会誌「野生生物と社会」を発行予定。

横山副会長より、フォーラム誌の発行状況について報告。2011 年 9 月に春夏号を送、2012 年 2 月に秋冬号（植物特集）を発行予定。

5、 行政研究部会

行政研究部会増沢氏より活動報告。部会会員 76 名（4 名増加）、準部会員 71 名（10 名増加）。本大会において、テーマセッション「鳥獣行政・野生生物保護行政のアーカイブ化」開催。2011 年 12 月に研究会「野生生物と放射線」開催予定。

6、 学会功労賞の推薦

吉田理事より、学会功労賞の発議があり、出席理事全員の賛成をもって、敷田前会長に功労賞を授与することを決定した。

7、 学会名変更の手続き

湯本会長より、学会名変更の手続きについて説明。今年度総会において学会名変更手続きの承認を得て、来年度大会における理事会・総会で最

終決定する。「野生生物と社会」学会、「人と野生生物学会」、「野生生物—社会システム学会」、「野生生物管理システム学会」の4案を理事会として提案する。

8、 若手・実務者育成

柳川理事より、青年部会グリーンフォーラム参加報告。

鈴木正嗣理事より、野生生物保護管理の実務者養成に関する提案があり、理事会の下にワーキンググループをつくることとした（構成案：柳川理事、鈴木正嗣理事、梶理事、青年部会野呂さん）。来年度大会で、理事会企画のテーマセッションとしたい。

9、 男女共同参画

岩井理事と八代田理事から、男女共同参画の進展について報告。

助成研究者が参画しやすい学会とするため、学会における保育室の設置を予算化する。女性の研究者のキャリアパスのため、フォーラム誌に女性研究者、実務者等の記事を掲載する。

10、 2012年大会、2013年大会計画

小寺理事から、大会準備状況について報告。今年度から大会開催方針を変更し、準備金を貸与できることとした。

討議の結果、京都大学、宇都宮大学、東北（盛岡）を3候補として、向こう3年間の開催計画をたてることとなった。

11、 青年部会

富田部会長より、青年部会活動報告。5月に第3回グリーンフォーラムを開催（参加者27人）。本大会で、テーマセッション「保全の担い手」開催。10月下旬に兵庫県で「ため池セミナー」、2012年2～3月に基礎セミナー開催予定。

12、 今大会の報告

山中大会事務局長より、今大会の報告。事前受付に加え、当日参加者もあり、大会会計は黒字になる予定。